

# 小さくはじめる端末管理



# Takeshi Ihara

- AbemaTV (2018/09/01 ~)
- Twitter: @nonchalant0303
- GitHub: Nonchalant

※ 今回は前職の話です

# 検証に使う端末

- OSバージョンが上がっている
- 借りようとする端末がない



# MDM (Mobile Device Management)

複数の端末を一元的に管理するための仕組み

- 端末紛失時のリモート制御 (ロック、データ削除など)
- セキュリティポリシーやアプリケーションの配布、管理
- アプリケーションや機能の利用制限と監視
  - OSアップデートの制限

# MDM (Mobile Device Management)

複数の端末を一元的に管理するための仕組み

- 管理したいデバイス数がそんなに多くない
- コストが高い
  - セットアップのコスト
  - 例: 50,000円 + 3,600円 \* デバイス数 (CLOMO)

# チケット管理

- 端末毎にJIRA上でチケットを作成
- 借りるときにチケットのステータスを変更



# チケット管理

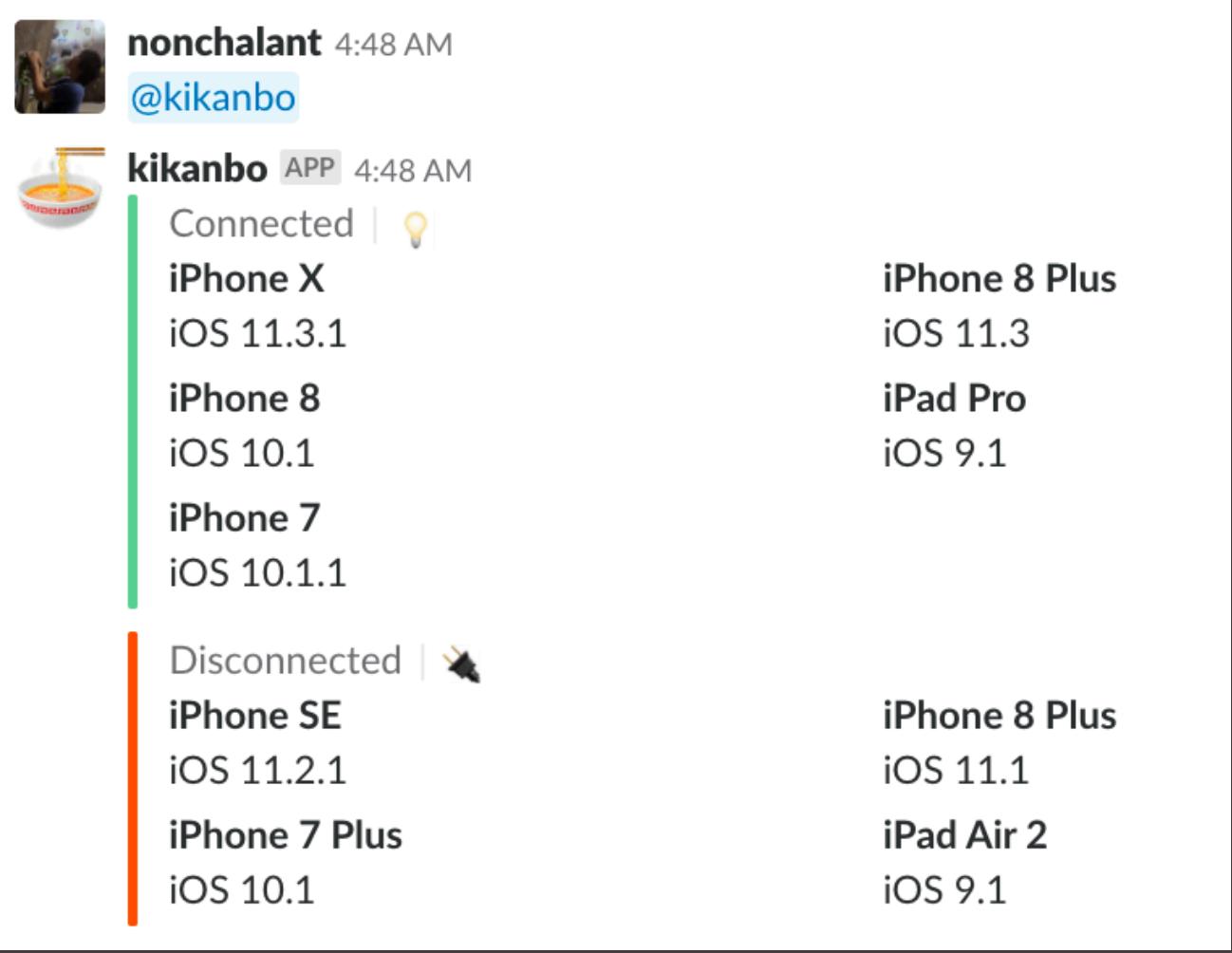
## 未実施

- ステータスを変更しない人が多そう
- OSバージョンが上がってしまう問題は未解決



# SlackBot + MacMiniで管理する

- 各端末の名前, OS, Device情報, 接続情報が表示される



A screenshot of a Slack message from the user **nonchalant** at 4:48 AM (@kikanbo). The message displays a list of devices connected to the bot, categorized by connection status: Connected and Disconnected.

| Connected              | Disconnected              |
|------------------------|---------------------------|
| iPhone X<br>iOS 11.3.1 | iPhone 8 Plus<br>iOS 11.3 |
| iPhone 8<br>iOS 10.1   | iPad Pro<br>iOS 9.1       |
| iPhone 7<br>iOS 10.1.1 |                           |
|                        | iPhone 8 Plus<br>iOS 11.1 |
|                        | iPad Air 2<br>iOS 9.1     |

# SlackBot + MacMiniで管理する

- Jenkins + Deploy用のMacMiniが余ってた
- 実機でUITestするためにMacMiniに端末が繋がっていた
  - 電話とチャットのテスト

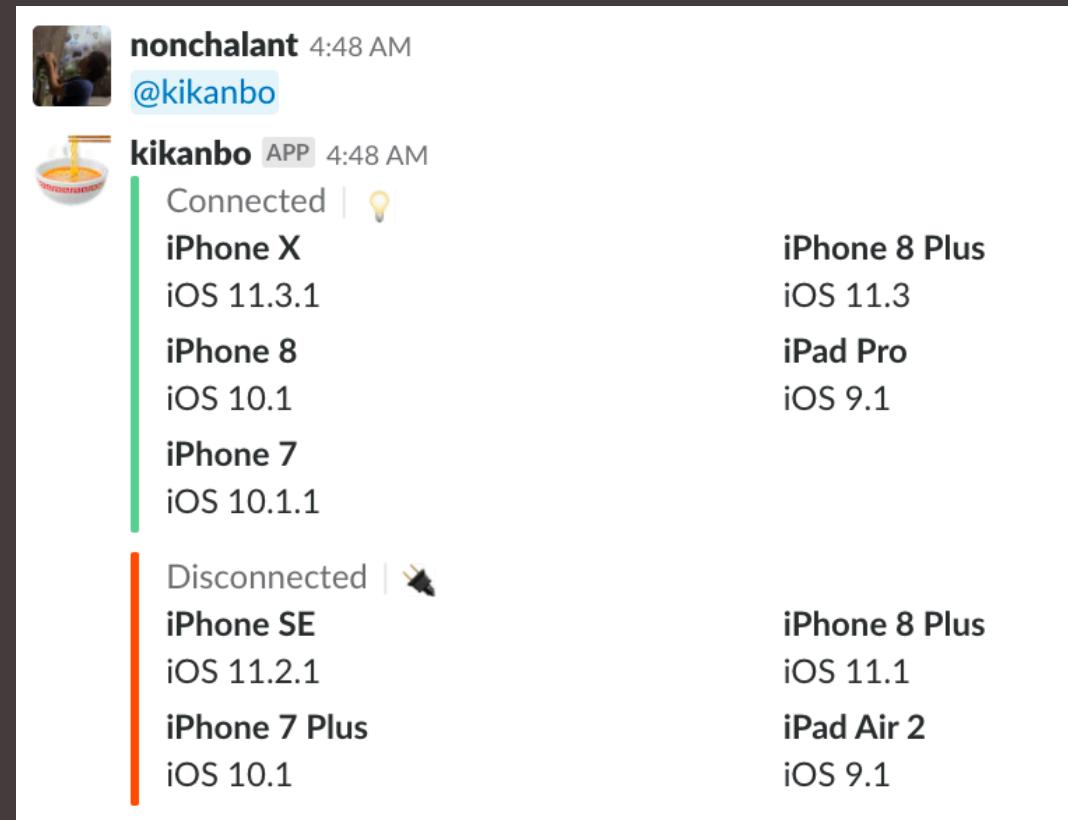
# SlackBot + MacMiniで管理する

- 誰が借りたかわからない
  - そんなに問題じゃなかった -> Slackで聞けばいい
- OSバージョンが常に最新の情報で得られる
  - 勝手に上がることじゃなくて乖離が問題だった
- このBotを使っても使わなくても問題ない

# OSS

<https://github.com/Nonchalant/kikanbo>

GoのCLIツールとして公開しています



# まとめ

- 問題点が何か様々な解決策を検討することで認識できた
  - ツール作りが楽しくてオーバーエンジニアリングしがち
- GoでCLIツール作るの楽しい
  - Cobraというテンプレート生成ツールが便利だった
  - Docker, Kubernetesも使っている
- 時間があればMicroMDMなども試してみたい！

# 俺コン (09/12 ~ 13)

9月  
12 僕コン 2018 Summer / Day. 1

帰ってきた俺が本当に聞きたかったトークを話してもらうコン



ハッシュタグ : #orecon\_ios

フォロー参加者

フォローブックマーク

募集内容

Attendee 無料

先着順 133/150人

グループ メンバーです

俺コン



イベント数 4回  
メンバー数 300人

開催前

2018/09/12(水)  
19:00 ~ 22:00

[Googleカレンダー](#) [icsファイル](#)

[このイベントに申し込む](#)

開催日時が重複しているイベントに申し込んでいる場合、このイベントには申し込むことができません

募集期間

2018/07/17(火) 11:40 ~  
2018/09/12(水) 22:00

[イベントへのお問い合わせ](#)

# iOSDC 2018 Reject Conference (09/18)

「Factoryの自動生成によりテストを書きやすくする」という  
タイトルで発表します。

The screenshot shows a social networking profile for the event. At the top, it displays the date "9月 18" and the event name "iOSDC 2018 Reject Conference days1[非公式]". Below this, it says "iOSDCは、まだ終わっていない" and "主催: akatsuki174". The central feature is a large logo with the text "Reject Conf" in green and "iOSDC 2018" in brown, with "JAPAN" written below it. To the right of the logo is a "グループ" section for "iOSDC Reject Conference", showing a thumbnail of the logo, "イベント数 8回", and "メンバー数 447人". Below this is a "開催前" section for "2018/09/18(火) 19:20 ~ 22:00", with links to "Googleカレンダー" and "icsファイル". A "このイベントに参加できます" section includes a "受付票を見る" button and a note about following instructions from the organizer. At the bottom is a "申し込みキャンセル" button.